

一代交配 パプリ

彩り鮮やかな完熟ピーマン!



特 性

- ① 開花後60日位で収穫となるカラフル(赤・黄・オレンジ・パープル・ホワイト)なジャンボピーマンです。
- ② 果肉は厚くサラダ料理の色づけによく生食以外にも、幅広い料理に利用できます。完熟果はもちろん、未熟果(青果)でも間引き果として収穫できます。

栽培のポイント!

カラーピーマンは播種から収穫まで、長期間にわたる栽培管理が必要となります。従って根の働きをよくする為にも堆肥を施し、深耕した保水性・通気性のよい土壌で栽培を行います。又、長期間の栽培となるので、ハウス雨除け栽培を基本とします。

播種・鉢上げ(移植)

- ① 用土には市販の種まき用土等、病気汚染のない用土を使用します。
- ② 育苗箱等にすじまきをして覆土の後、灌水をし、乾燥防止のために新聞紙をかけて地温 25 ~ 30℃で管理します。
- ③ 播種後5 ~ 7日程度で発芽しますので発芽したら、すぐに新聞紙をとりす。発芽後は地温を 20 ~ 25℃にします。
- ④ 本葉が2枚のとき(播種後20日前後)に9.0cm以上のポリポットに鉢上げをおこないます。定植前日までにポットに土をつめておき、地温を 25℃に上げておくと鉢上げ後の生育がスムーズになります。

鉢上げ後の育苗管理

- ① カラーピーマンは高温を好みます。鉢上げ後の地温はやや高め(20 ~ 25℃)で管理します。定植の1週間前日から徐々に温度を下げ、定植の直前には最低地温を 16℃程度にします。
- ② 徒長防止のために葉と葉が重ならないように適宜、苗の「ずらし」を行います。(重要)
- ③ 週に一度の間隔で液肥を施し、肥料切れを防ぎます。

圃場の準備

- ① 保水性があり排水の良好な圃場を選び、定植の1ヵ月以上前には完熟堆肥を施し、深耕しておきます。
- ② 元肥は 10aあたりの成分量で窒素 20kg、リン酸 30kg、カリ 20kgを基準とし、前作や土質によって加減します。また、苦土石灰を 10aあたり 80 ~ 100kg 施します。
- ③ 遅くとも定植の1週間前までにマルチを張り、地温を上げておきます。畝幅は 150cmの高畝とし、株元付近に灌水チューブを設置します。

定 植

- ① 定植適期の苗の大きさは一番花が開花する直前定植適期です。
- ② 植え付けは2本仕立ての場合で株間 25cm、4本仕立てで 45cmの1条植えとします。
- ③ 1番花が着果しているような老化苗では活着不良をおこしやすいので定植が遅れないようにします。天候などで定植が遅れ、老化苗での定植になった場合は薄めの液肥を与えて活着を図ります。

敷きわら

夏期には畝の上に敷ワラをし、地温の上昇を防ぎます。

温度管理

気温は 17 ~ 30℃を目標とします。高温期に 30℃以上になると変形果やひび割れ果が増えるので、ハウスの換気に注意します。特に夜温が高いと着果しにくくなります。また、15℃以下になると果実の先端がとがるなどの変形果が増加します。

仕立て方

本葉 10枚程度になると分枝し、その後、節ごとに2本ずつ分枝していきます。分枝した枝は太いほうを主枝と見立てて2 ~ 4本の主枝とします。細いほうの枝は側枝とし、1,2節で摘心します。なお第1分枝より下に発生する腋芽は取り除きます。

摘 果

- ① 初期から着果させると草勢が弱まるので、下から数えて3節目までの花(1 ~ 3番花)は摘花して草勢を強めます。その後4節目から着果させます。
- ② 果実は主枝にのみ着果させ、側枝についた果実は摘果します。

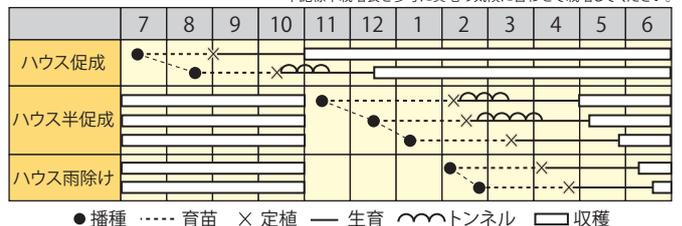
追 肥

追肥は最初に着果させた果実がゴルフボール程度の大きさになってからおこないます。その後2 ~ 3週間ごとに施します。追肥1回分の量は 10aあたり窒素成分量で2 ~ 3kgです。

収 穫

果実の表面が9割程度、着果した時点で収穫します。高温期には収穫が遅れると障害が発生しやすいので注意します。

下記標準栽培表を参考に貴地の気候に合わせて栽培してください。



品種名	草勢	草姿	草姿	早晩性	着果の多少	果の大きさ	果重(g)	果 色	備 考
パプリレッド	やや旺盛	半立性	中生	やや多	大	220~240	緑→濃赤	葉がやや小さいので日やけ果が発生する場合は内枝を少し多めに残して日除けをすとよい。	
パプリゴールド	やや旺盛	開張性	中晩生	中	大	240~260	緑→濃黄	果実が大きいため収穫がやや遅れる。着果数の多い場合は早めに摘果すること。	
パプリオレンジ	旺盛	半立性	中生	やや多	中の大	200~220	緑→濃オレンジ	着果数が多いので変形果などは早めに摘果すること。	
パプリパープル	旺盛	半立性	早生	多	大	200~240	緑→濃紫	直径3cm位の未熟期より着色するため、収穫サイズになれば、適宜収穫する。	
パプリホワイト	中	半立性	早生	中	やや小	150~170	白→朱赤	収穫サイズになり次第、白色の未熟果を収穫する。着果性が良いので、肥料切れに注意する。	